

す。倒さに立つと菓物の樹になります!!!

さー これ皆あてゝござらん!

●皆當てた人三番までに賞品を上げます。

●解答は封書に限る。封紙には婦人と子ども投

稿と記し下さい。

●女子高等師範學校附屬幼稚園内フレイベル會

てのこと。

前號考へ物の答

有酒、來吞

家庭



家庭雜感

廣瀬權太郎

(一) 子供の性質。幼き子供は誠に天真爛漫の、云はゞ無垢の者で、悪い性質は少しも以て居らぬが母親や又は姉妹等が可愛さまぎれに菓子や、乳房等を見せて、さーやろー、早くいでなと、見せびらかして置いて其子の手を出すや否や、いやなど申して戯るるは、誠に、善くない事と思ふ、如何なれば、之れは一の悪い事を教へて、悪觀念

を拵こしらゆる様なものである、このよゝな事が折々重
 れば、重かさなる程ほど悪い觀念かんねんが兒童こどもの頭あたまの中に構成こうせいされ
 るので或學あるがくしや者は、人の性質せいしやうは本来ほんらい善よなる者ものである
 けれども、右みぎのよゝな例れいで以もつて、悪い事わるいことを教おしえる
 から、成長せいちょうするに従したがつて、悪い心わるいこころが出來きるのだと申もう
 されましたが、私わたしもそゝであると思おもはれます、
 それでありますから、其そのよゝな事は決けつしてなさら
 ぬのが宜よろしうござります。

(二)食物たものを妄みだりに興おたぬ事こと。胃病いびょうは日本人にほんじんの持病ぢびょう
 だと申もうす事は、外國人ぐわいこくじんの一般いっぺんに申もうす事ことであります
 が、此原因このもとも色々いろくありませうけれども、嬰兒おむすこの時とき
 に、母親等おややなどが、子供こどもを育そだつるに泣なきさえずれば、
 乳々ちちくと申もうして直すに乳ちちを與あたえるのが一汎いっはんの傾かたむきであ
 りますが、之これは至極しごくよくない事ことでございます、子
 供こどもの泣なくのは、決けつして空服くうふくで泣なくのみではなく、

氣分きぶんが悪いといつて泣なき、何か慾ほしい者が有あつては
 泣なき、いやな事が有あつても泣なくのです、それであ
 りますから、乳等ちちなどは略はつりつていた時ときをきめておやり
 なさる方が宜よろしうございます、又またや大きくなり
 まして、近所きんじよへ遊あそびに參まゐりましたも、直すに菓子かしや
 らわんもやらを與あたゆるのが、習慣なづかひの様に思おもはれま
 すが、これは實じつに改良かひりよしなくてはならぬ事ことと思おもふ
 併いし子供こどもの身からだ体たいには、砂糖さとう分ぶんは、必要ひつようなものであ
 りますから、適度てきどに與あたゆるのは宜よろしうございませ
 う。

三)成なるべく自然しぜん的に育そだつる事こと。どゝも私わたしの見み
 所ところでは、普通ふつの智識ちしきの足たりない加減かげんが余あまり子供こどもの
 世話せわをやさすぎて困こまる、全体ぜんたい子供こどもと云いふ者はなる
 べく、自然しぜんに放任ほうにんして、天然てんねんの良能りやうのうを發達はつたつさせる
 がよい、折角せつかく子供こどもの自然しぜんに天真爛漫てんしんらんまんに活動かつどうして居ゐ

るのを、消極的に、やれあーしてはいけん、こ
 ーしてはいけん、やれあてーせよ、やれ頭を下げ
 ろやれに行儀よく座れ等小杓な世話をやき、特に
 か客様でも来ると、お行儀が悪い等としかりつけ
 るのは、何の役にも立ちません、只子供は、却て
 恐れ縮みて、卑屈卑怯の憶病者となるか、但しは
 又のぶとく癖みて拆檻を空吹く風ときき流すに至
 ります、又今でも昔の様に其子をせめ立てて、朝
 は早く起し、夜はおそく迄寝ねさせず、夜も晝も
 やれ稽古稽古と責め立つるを、親の役目と思つて
 居る人が多い様ですが、精神上から申しても、身
 体上から申しても、斯る事は善くはござりませぬ
 50。

(四)普通智識の必要。 母親たる者は是非とも、普
 通一般の智識を以て居る人を望みます、そーして、

特に理科的の智識は必要だと思ひます、母親たる
 者は成るべく、英雄談やおとぎ噺を知りて居て、
 され〜には、子供の話相手となつたり、學校等
 で聞て来た噺を話させたりして、昔の様な何の役
 にも立たぬ迷信的の、お化の話や人情談などは、
 しない様にしたいものです、私等が一寸近所の家
 庭を訪問などして見ると、子供の泣く時に、母親
 や叔母等が頻りに夫を止めさせよーとして、それ
 巡査が来たぞ、そらお化が来たなど申て居ます、
 が、誠に私は片腹痛うござりました。

(五)音楽につきて。 音楽はご承知の通り人の感情
 を左右する事が甚だ大なる者でありますから感情
 の教育には、非常な力を以て居る者であります、
 けれども田舎へ参りますと、祭禮とか、お盆とか申
 しまする時に、踏をれどりながら、謡ひまする色

を俗的(ぞくてき)なもの、稀(まれ)には善(よ)いものも有りませんが、中には殆(ほとん)んど口(くち)にするも憚(はば)かる様(よう)なのが澤山(たくさん)ありまして、之(これ)もだん／＼改良(かいり)しなければならぬと思(おも)ひますが、此等(これら)の人情歌(にんじやうか)を大低(だいてい)の日本(にっぽん)の家庭(かてい)に於(お)ては平氣(へいき)で子女(しやうに)と一所(いっしょ)に諷(ふ)んで居(ゐ)るのは、寧ろ驚(おどろ)くべきではありせんか特に母親(はは)等(ら)が、子供(こども)に向(む)つて諷(ふ)え諷(ふ)えといつて切(き)りに勸(すす)めて居(ゐ)る事も見(み)た事(こと)がありまして、私(わたし)の考(かん)には一汎(いつぱん)の家庭(かてい)に於(お)て以(い)謂(わ)學校(がく)唱歌(てい)の如(ごと)く者(もの)を可成(なるべ)く諷(ふ)く様(よう)にして日々(ひび)時間(じかん)を定(さ)めて家内(かえい)合唱(ごう)等(ら)も致(いた)したならば、一層(いっそう)心身(しんしん)を爽(すわ)快(かい)にし審美(しんび)的感情(てきかん)を養成(ようせい)し、恰(あた)かも謠(うた)ふ様(よう)な心持(こころもち)が致(いた)しまして、子供(こども)の教育(けいよう)上に取(と)りましても、又(また)一家(いっか)の平和(へいわ)團圓(だんげん)の上(うへ)に於(お)きましても、此上(こゝろへ)もない善(よ)い事(こと)と思(おも)ひます。

(六)親切(しんせつ)といふ事(こと)。終(お)りに望(のぞ)んで今(いま)一つ親切(しんせつ)と申(もう)

事(こと)を簡單(かんたん)に申(まう)しますが、皆(みな)さんは、鼻(はな)を垂(た)して居(ゐ)る子供(こども)に向(む)つて、鼻(はな)をかめと云(い)うて自(じ)分(ぶん)でかませるのと、又(また)此方(こゝろ)から鼻(はな)をかんでやるのと、何(なん)れが親切(しんせつ)だと思(おも)ひますか、私(わたし)は其(その)子供(こども)の爲(ため)には、鼻(はな)をかんでやるのは、却(か)つて不親切(ふしんせつ)で、自(じ)分(ぶん)で鼻(はな)をかませるのが、真(ま)に親切(しんせつ)である／＼と思(おも)ひます、是(こ)れは只(ただ)一例(いちれい)でござりますが、些細(さいさい)の事(こと)でも、子供(こども)の爲(ため)には、甚(はな)だしい影(えい)響(きやう)を及(およ)ぼす者(もの)であります、から、余程(よほど)氣(き)をつけねばなりません、親切(しんせつ)の積(つみ)りで世話(せわ)をやさ過ぎ(すぎ)ることが、却(か)つて後々(のちのち)子供(こども)に思(おも)はしからぬ性質(せいしやう)を興(おこ)へることになつて、大變(たいへん)な不親切(ふしんせつ)となること、澤山(たくさん)御座(ござ)います。

傳染病

醫學士 長瀬復三郎